

会議議事録

会議の名称	生命倫理委員会		日	平成23年12月15日(木) 17:00～17:30
	時	場	所	大会議室
出席者	委員長：森村統括診療部長 委員：澤田臨床研究部長、柳田診療部長、内炭救急部長、岩井看護部長、藤谷外部委員、久保田外部委員 (書記)庶務係長			
議 題 及 び 討 議 事 項				
<p>【軽度嚥下障害者における嚥下時のずり速度の検討】</p> <p>受付番号：23-14 頁数：1頁～48頁 (申請者：神経内科 富田 聡)</p> <p>申請者説明：研究の目的は、ずり速度による粘度の変化率を測定した異なる2種のとろみ液の組み合わせを用い、軽度嚥下障害者を対象に感覚的に粘度を評価することで咽頭通過時のずり速度を検証し、嚥下困難者用とろみ・ペーストの粘度測定時における適切なずり速度を検討することである。主要評価として、米国における既報にあるずり速度50sec⁻¹を超える回答者の割合を評価する。副次的に70sec⁻¹を超えない回答者の割合を評価する。本研究はアンケートを伴う調査として、軽度嚥下障害者10名を対象として行う。研究の対象は、当院入院患者のうち、嚥下造影等による精査により嚥下機能の評価がなされ、嚥下障害はあるが、とろみ付きの液体の嚥下に問題がないことを医師によって確認され、自由意思による同意が得られた方とする。本研究は、介入を伴う、ヒトを対象とした臨床研究であるため、また個人情報を扱うため倫理審査の対象となると考えた。</p> <p>審査内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ずり速度という言い回しが難しいのでは。 → 研究の題名であるので変更せず、口頭で説明する。 ・ 食品企業のデータを参考にできるのでは。 → 食品企業は健常者の情報しかない。 ・ 当院、当院が利用している検査食はどの程度なのか。 → どちらかといえばとろみが少なくなっている。 <p>審査結果：上記意見はあったが、承認</p>				